アピール

本研修会に全国の推進機構代表者が集まり、2日間にわたる研修を通じて、多重債務問題に関する意見交換を行った。

その中で、多重債務問題が深刻な社会問題となっていることを、あらためて実感し、「労働組合の世話役活動」の重要性を再確認した。まさに今、労働組合は、組合員の多重債務を予防・救済していく役割を、存分に発揮しなければならない。具体的には、組合員の〈ろうきん〉活用を促進していくことなどである。多重債務問題のない社会を実現するには、私達が、本研修会での成果を全国各地に持ち帰り、多重債務に関する啓発・相談活動をはじめとする生活応援運動に一層力をこめて取り組むと同時に、地域の労働組合に、これを広めていくことが必要である。

折しも、グレーゾーン金利を廃止すべく、秋の臨時国会で貸金業規制法が、見直されようとしている。私達は、この動向に大きな関心を持たねばならない。このことを通じ、一日も早く安心・安全で公平・公正な社会を実現し、勤労者が豊かに、夢をもって生活できるように、努力していくことが求められる。

そのためにも、本研修会に集まったメンバーが、一丸となって、活動を更に発展させていかなければなりません。そのことを誓い合い、本研修会のアピールといたします。

２００６年9月22日

2006年度全国推進機構代表者研修会